

「わたしたちが提案します」

開成の未来を支える子どもたちの一日議員体験

～開成小学校子ども議会～



答弁に対しても積極的に質問を投げかける場面も

2月19日(木)、町議会議場で「開成小学校子ども議会」が開催され、開成小学校6年生174人が議長や議員を体験しました。

議会は3回に分けて実施され、子どもたちから町に対して質問や提案を伝え、町長や教育長が答弁を行いました。

子どもたちは、当日までに下調べをして、その結果を模造紙などにわかりやすくまとめ、子ども議会に臨んでいました。

議場の独特の雰囲気子どもたちは、少し緊張の様子が見えましたが、議長や代表者の質問などを立派にこなし、終了後は、ほっと満足した笑顔が見られました。

また、傍聴席では、保護者や学校関係者が、一生懸命に意見を述べる子どもたちの姿を見守っていました。

☎教育総務課 ☎84-0324

2月21日(土)、南足柄市文化会館大ホールで、富士山の宝永噴火による酒匂川の大洪水と復興の様子を描いた足柄時代劇「富士に映える陽」が公演されました。

公募によって選ばれた地域住民など出演者は、晴れ舞台で半年近い稽古の成果を十分に発揮し、その見事な演技で観客を感動させました。

☎生涯学習課 ☎82-5221

「富士に映える陽」を演じて

出演者の一人として参加した 芥川卓さん(円中)手記

演劇は全く未経験で勢いに任せた参加でしたが、何とか無事に終わることができました。終演後、「ありがとう！」と言って握手をしてくださる見知らぬ方が数多くおられ、感激するとともに地域の方々がいかに足柄の地を愛しておられるかが強く伝わってきました。私自身、小田原・開成で生まれ育ちながら、足柄平野にまつわる歴史はほとんど知りませんでしたが、先人のあきらめない強い気持ちがあったからこそ、今の我々の平穏な生活が成り立っていることを知り、感謝の念でいっぱいです。台詞にもあった「みんなで心ひとつにして生き抜こう」という地域で協力しあう重要性がこの芝居で少しでも伝わったならこの公演は成功ではないかなと思っています。

足柄時代劇 「富士に映える陽」

熱演!
会場が感動



精いっぱい演じました(写真中央が芥川さん)

2100
SHYINK
SOYINK

この広報紙は環境にやさしい古紙配合率100%の再生紙と大豆インキを使用しています。



瀬戸屋敷ひなまつり おひなさまの前ですまし顔

2月17日(火)から3月8日(日)まで、実行委員会を組織し、町婦人会が運営主体となり、瀬戸屋敷でひなまつりが行われました。期間中には約1万8,000人の観光客や町民が訪れました。

人気のあった催しは、おひなさまと写真を撮るサービス。色鮮やかな着物を着せてもらった子どもたちが会場内を歩くと、見事なひな人形やつるし雛に目を奪われていた来場者たちもそのかわいらしさに思わず笑顔がこぼれていました。

☎産業振興課 ☎84-0317